

# 地域イノベーション創出2009inとっとり

## ～産学官連携・産業クラスター推進シンポジウム～

### 開催結果概要

平成21年7月3日  
中国経済産業局

中国地域における産学官連携活動と産業クラスター計画を更に加速させるため、「中国地域産学官コラボレーション会議」<sup>※1</sup>の参加機関や「中国地域産業クラスターフォーラム」<sup>※2</sup>の関係者等 約400名が一堂に集いシンポジウムを開催し、参加企業、研究者、支援機関等から地域イノベーションの創出に向けた提案や活発な意見交換が行われました。

本シンポジウムは平成14年以降中国5県持ち回りで毎年開催しています。

※1：中国地域の産学官連携を推進するために結成された協働会議で、産学官関係75機関で組織

※2：企業や大学等の研究者・専門家等の参加によるプロジェクト推進に向けたネットワーク組織

【日時】平成21年6月30日（火）13:30～19:30  
7月1日（水）9:15～12:20

【場所】とりぎん文化会館（鳥取県鳥取市）

【参加者数】416名（産164・学147・官105）



#### ①挨拶・講演

挨拶 中国経済連合会 会長 福田 督 氏	挨拶 鳥取大学長 能勢 隆之 氏
-------------------------	---------------------



講演 「「ど真ん中」中国地域を  
元気発信地へ！」  
中国経済産業局長 長尾 正彦



#### ②基調講演 I・II

「三菱電機の研究開発戦略  
～シナジーとイノベーション～」  
三菱電機(株)上席常務執行役 久間 和生 氏



「我が社の経営戦略」  
コクヨ(株)代表取締役社長 黒田 章裕 氏



### ③ 5大学の産学官連携（パネルディスカッション）

テーマ：「大学連携による新たな産学連携活動のあり方」

内容：国立大学法人5大学が取り組む産学官連携・大学連携の事例発表と、今後の5大学の連携について議論しました。

＜コーディネーター＞		
中国経済産業局	局長	長尾 正彦
＜コメンテーター＞		
中国経済連合会	産学官連携担当理事	都留 良男 氏
＜パネラー＞		
鳥取大学	学長	能勢 隆之 氏
島根大学	学長	山本 廣基 氏
岡山大学	副学長	曾良 達生 氏
広島大学	理事（社会連携・広報・情報担当）	岡本 哲治 氏
山口大学	産学公連携・イノベーション推進機構 副機構長	堀 憲次 氏



## まとめ

### ～中国地域の5大学連携による新たな挑戦～

#### 共同利用の促進（オープンイノベーション）

- 戦略展開プログラム（中国地域産学官連携コンソーシアムや国際産学官連携活動）について、中国地域5大学連携による推進を目指す。
- 地域イノベーション創出共同体形成事業による大学や研究機関の人材・機器等のオープン化を目指す。
- 知財連携強化のため、TLOの広域連携による中国地域全域での広域的シーズ移転やYUPASSの共同利用等を促進する。

#### 連携して魅力を発信（中国地域ど真ん中）

- 関東・関西・海外で開催されるシーズ発表会において、中国地域で連携した展示を実施する。（山陰発新技術展示会等）
- 自動車展示商談会等、大手メーカーへの商談会に大学シーズを共同で発信する。
- インテレクチャルカフェ等「知の交流」を各地域で拡大していく。

#### 地域の連携拠点の形成（拠点化）

- 「産学官連携拠点（文科省・経産省）」について、5大学が連携した拠点形成を検討する。
- 「地域産学官共同研究拠点整備（JST）」について、各5大学が地方自治体（県・市等）、地元経済界と連携して整備をすすめる。
- 「最先端研究開発支援プログラム（文科省）」等、研究の選択と集中が進む中、世界日本でトップの研究分野の構築に5大学が連携して取り組む。

「5大学連携実務者会議」にて具体的に検討（今秋予定）

#### ④事例発表（鳥取県）（パネルディスカッション）

テーマ：「とっとり発 農商工“学官”連携」

内 容：鳥取県内で分野を越えた連携に取り組む各方面の実践者が集い、鳥取県から『農商工“学官”連携』という新たな連携の展開を提唱しました。

<コーディネーター>

鳥取大学 産学・地域連携推進機構 機構長 菅原 一孔 氏

<パネラー>

株式会社ハイパーブレイン 代表取締役 加藤 豊実 氏

株式会社ホテルセントパレス倉吉 代表取締役社長 名越 宗弘 氏

合同会社めぐみ 代表 濱田 美絵 氏

鳥取環境大学環境政策経営学科 学科長 金子 弘道 氏

鳥取県商工労働部産業振興総室 新事業開拓チーム長 酒井 崇行 氏



#### ⑤第9回中国地域産学官コラボレーション会議

中国地域産学官連携アクションプラン（5カ年計画）の取り組み状況について参加機関に報告されました。また、アクションプラン終了後の平成22年度以降のコラボレーション会議の活動方針について議論が行われました。



#### 平成22年度以降のコラボレーション会議の活動方針

- ①「中国地域産学官コラボレーション会議」は存続する。
- ②「中国地域産学官連携アクションプラン（5カ年計画）」は、平成21年度で終了する。その後のコラボ会議における産学官連携活動は、コラボ会議参加75機関個々の活動から、連携組織による活動へ軸足を移し、スローガンの下に活動を行う。
- ③シンポジウムを開催し、連携組織の活動成果発表等を行う。（1回/年）
- ④「地域産学官共同研究拠点整備事業」について、コラボ会議参加75機関は各地方自治体（県・市）と連携を図る。

<<承認事項>>

今後の活動方針に基づき、コラボ75機関の意見を伺いながら詳細検討を行い、平成22年6月のコラボ会議において次期活動方針を決定する。



## ⑥ 事例発表（経産局・5県財団）

○産業クラスター計画の進捗状況

中国経済産業局 地域経済部長 湯浅 憲義

○各県の産学官連携・クラスターによる主要プロジェクトの進捗状況

(財) 鳥取県産業振興機構 理事長 金田 昭 氏

(財) しまね産業振興財団 副理事長 山根 泉 氏

(財) 岡山県産業振興財団 技術支援部 部長 三島 佳洋 氏

(財) ひろしま産業振興機構 副理事長 藤井 秀幸 氏

(財) やまぐち産業振興財団 副理事長 伊藤 通雄 氏

## <展示>中国地域産学官コラボレーション会議74機関の展示

鳥取県内の機関を中心に産学連携の取り組みについて、展示を行いました。



## 【同時開催】第2回中国地区高専テクノ・マーケット

中国地区の8高専が地域産業界のイノベーションの創出を目的として、合同でプレゼンテーションによる16件の研究シーズを発表し、地域企業との交流を行いました。また、200枚のポスター展示と産学官連携コーディネーターによる技術相談も行われました。

展示テーマ：【電気・電子】【環境・バイオ・エネルギー】【機械・メカトロ】【IT・情報】【物質・材料】【運輸・流通・ビジネス】【社会基盤・福祉】【その他】

